

平成30年度第2回敦賀市総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成31年2月18日(月) 午後4時00分～午後5時10分

2. 場 所 市役所5階 第2委員会室

3. 出席者

| | | | | |
|-------|-----------|---------|-----------|---------|
| | 市 長 | 渕 上 隆 信 | | |
| | 教 育 長 | 上 野 弘 | 教育長職務代理者 | 神 谷 敬一郎 |
| | 委 員 | 岸 本 松 則 | 委 員 | 中 宮 智 子 |
| | 委 員 | 堺 啓 輔 | | |
| 事 務 局 | 事 務 局 長 | 池 田 啓 子 | | |
| | 秘書広報課長 | 森 下 正 則 | 教育総務課長 | 鈴 木 一 良 |
| | 学校教育課長 | 江 戸 義 直 | 教育総務課主幹 | 吉 田 聡 |
| | 教育総務課総務係長 | 杉 村 祐 介 | 学校教育課指導主事 | 山 口 芳 弘 |
| | 教育総務課臨時 | 森 川 友 | | |

4. 内 容

1 開会

2 市長あいさつ

本日は、今年度第2回目の総合教育会議に、お忙しい中、御出席をいただき、誠にありがとうございます。さて、早いもので、今年度もあと1ヶ月と半月となりました。今年度の大きな出来事として、やはり昨年9月から10月にかけて開催された平成最後となる「福井しあわせ元気国体・元気大会」が強く印象に残っております。本市の各会場でも熱戦が繰り広げられ、国体・障スポが大きな感動の中で成功裏に行えることができました。そして、先週13日には、実行委員会の解散総会が行われ、無事に一区切りがつき、選手や関係者の皆様はもちろんのこと、教育委員の皆様にもご協力をいただきましたこと改めて御礼申し上げます。これを契機に本年も飛躍の年とすべく、私ども市長部局と教育委員会がますます一体となって教育行政を推進してまいりたいと存じますので、今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。さて、本日は学校教育を中心にご協議をいただきます。いずれも本市教育行政の重要課題でございますので、忌憚のないご意見をよろしく願います。

市 長…まず、冒頭に会議の公開について、確認いたします。敦賀市総合教育会議設置要綱第6条第1項では、会議は原則公開するものと定めております。本日傍聴の方がいらっしゃるようですが、要綱どおり公開としてよろしいでしょうか。

異議なし

3 協議事項

(1) 角鹿小中学校の設置に係る進捗状況について

教育総務課長 資料に基づき説明

市長…ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

一 同…特になし

(2) 敦賀市いじめ防止基本方針について

学校教育課長 資料に基づき説明

市長…ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

岸本委員…いじめの未然防止について追加された中に、特に配慮が必要な児童生徒とありますが、一般の児童生徒についても未然防止は非常に大事だと思います。いじめが年々増加していて、対処はしているがなかなか良い解決方法が見いだせないでいます。いじめや不登校がおこらない学校・学級とはどのようなものでしょう。学級の風土を作っていくことを通していじめの未然防止になると思います。今までは事案がおきてからの対処にエネルギーを使っていましたが、事案がおきる前のことをもっと重視すべきだと思います。未然防止対策を色々と具体的な方法を取り入れていかないといけないと思います。

市長…ありがとうございます。事務局から何かございますか。

学校教育課長…貴重なご意見ありがとうございます。まず学級の風土ということで、子どもたちが楽しく居心地の良い場所になるよう、未然防止について校長会と連携を図りながら学校経営の中に位置づけていきたいと思っています。

市長…いじめの定義にある、けんかやふざけあい、本来仲が良さそうに見えますが、感じ方によっては嫌な人もいるなど、新しい視点がいくつか増えたのだらうと思います。

(3) 敦賀市中学校部活動の方針について

学校教育課長 資料に基づき説明

神谷委員…熱中症など気になりますので、先生方への教育もですが、生徒への教育もしっかりしていただきたいと思っています。

学校教育課長…今年度の夏も非常に暑く、部活動が一旦中断することもありました。本市においては全小中学校、公立幼稚園に熱中症を測定する機械を設置し、それをもとに子どもたちの安全な活動を保証しております。これからも熱中症の数値をしっかりと確認しながら子どもたちに適切な活動をさせていきたいと思っています。

市長…時間も日数も短くなったので、大丈夫だろうという安心をしてしまうといけないと思います。

堺委員…大会の主催者側に対しての拘束力はあるのでしょうか。大会に行くために子どもた

ちは早朝に出ていくので、親はお弁当を作るためにさらに早く起きないといけません。大会の時間の設定があまりにも非常識だと思います。大会自体のスケジュール設定についてもある程度配慮してもらわないといけないと思います。その点について、この方針は伝わるのでしょうか。

学校教育課長…県が業務改善について方針を定めました。業務改善に合わせて、中体連や高体連等11団体にも向けた共同のメッセージとなっておりますので、部活動の大会運営についても競技団体で適切な形で進められていくと思います。

中宮委員…福井県選抜として選ばれているバレーや卓球等も、福井で行われますね。親が朝早く送って行ったり、始発の電車で行くなどしていますね。

学校教育課長…2021年までの間に部活動の在り方についても県全体で考えていこうとしています。少し時間はかかるかと思いますが、それぞれの団体や校長会等が協議をして進めていくと思います。

市長…競技団体によってはうまく連動しているところもあるでしょうが、しばらく調整が必要な団体も出てくるだろうということですね。

岸本委員…小学生、中学生が任意で加入しているボーイズやサッカーなどは、どこが指導管理しているのでしょうか。

市長…この議論は学校業務改善方針のことを議論したのち、その他のところでされたほうがよいかと思いますが、後ほどの議論に持ち越してもよろしいでしょうか。

一 同…異議なし。

(4) 敦賀市学校業務改善方針の策定について

学校教育課長 資料に基づき説明

市長…ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

堺委員…早く帰るようにしましょう、小学校の行事や夏休みを減らしましょうとありますが、当面そうするしかないのかもしれませんが、根本的な原因はやらないといけないことに対して先生の数が少ないからだだと思います。これだけのことをやらないといけないのなら、もっと先生を増やすべきだというのが本来の話であって、それをこれだけの人数でまわさないといけないからどうするかという次善の策でしかないと思います。とりあえず今の体制で頑張るために手当をしていると思うので、当面の対策としてやむをえないことだとは思いますが。現場の先生は今でも頑張っているのにまだ時間を短くしてくださいというのは本来あまり望ましい方向ではないと思います。時間が足りないので、夏休みを削ったり、行事を減らしたりするのも、子どもたちにしわ寄せがいつているので、本来はあるべき方向ではないのではないかと思います。文科省や財務省に予算を付けてもらわないといけない話ではあるので、ここで議論する話ではないかもしれませんが、大きな方向としては現場の先生たちにもっと頑張れというのではなく、負担を減らすために環境整備することが私たちの仕事ではないかと思っています。

中宮委員…教員を増やすのも難しいですよ。先生に対する支援を増やしてあげることが大事だと思います。会議等に行っても、先生方がコピーをとっていたりするので、日中にそういった作業をしてくれる人がいたらいいだろうと思います。

学校教育課長…ありがとうございます。働き方改革の中で学校運営支援員という形で本市も予算をつけて、プリントの印刷や実験の後始末など先生のお手伝いができることを効率よく取り組んでいるところです。

市長…先ほど岸本委員がおっしゃったようにクラブ活動についても学校で先生が見られる時間は限られてくるので、その上を目指す子どもにとっては地域の社会人の団体に入っていきにくいですね。どういう将来像を描くかという非常に大事なポイントにいると思います。学校が終わった後にクラブ活動をするときは学校の施設を利用して、学校の先生ではない誰かと活動するというようにしないと難しくなってきましたし、テストの採点をしようと思うと、どこかで先生が授業をやらずにIT等で授業をする時間が必要になってくるでしょうし、新しい学校の形態を考えないと難しい時代に入るのかなと思います。

神谷委員…外部の指導者は現状としては、どのような感じなのでしょうか。

学校教育課長…部活動指導員として4名の方が中学校に入っています。

神谷委員…特定の競技ですね。

学校教育課長…はいそうです。ほかに県の事業で、地域の方がサポートに来ていただいたりしています。

岸本委員…学校業務改善計画の中に、学校の生徒数に対して部活動の数が多すぎるのではないかという議論がされています。規模に応じて削減していきましょうとなっていますが、入学してくる生徒にしてみたら選択肢が非常に狭まってしまいます。近隣の中学校なら合同で部活動をすることは可能かと思います。適正に応じて部活の数を削減していくことは先生方は助かりますが、こういうことが可能なのかということと、将来的には学校の部活はすべて外部講師がするといいと思います。中学校の先生方は授業が終わるとすぐ部活に行かないといけないので、学校の教育に関する業務は部活が終わった6時半ごろからになります。先生方の負担が増えてきたので、部活動は外部でするようにしないとダメではないかと思います。教員の数を増やすのは非常に難しいですし、別の方法で先生方の負担軽減を考えないといけないと思うので、専門性のある外部の指導者がみるというのは子どもたちにとっても先生方にとってもよいと思います。

学校教育課長…ありがとうございます。地域との連携も含めて、これから2021年度までにどのような子どもたちを育てていくかという将来像を明確にしていくことも大事だと思います。先生方が子どもと向き合う時間を大切にすることを柱にして業務改善を進めてまいりたいと思いますので、いろいろなご意見をお願いいたします。

市長…岸本委員がおっしゃったことは非常に大事なことです。先生方は部活動から離れて、指導者に任せてしまわないと国の要求に対してはこたえきれないような

厳しい要求だと思います。

他に何かございませんか。

岸本委員…学校の部活の場合、週2日は練習を休みにする、朝練をやめる、大会運営の仕方等等中体連の組織の中で色々意見を伝える場所はあると思いますが、任意団体への発信の場所はあるのでしょうか。

教 育 長…任意団体については、県の業務改善方針の13ページに、中体連・高体連・各競技団体等との連携・協力・要請のところに、要請すると定められているので県教委で責任を持っていただいていると私どもは理解しております。

中宮委員…休みになると遠征で、親も朝早くから行くのですが、やめましようといわれても強くなるためには、なかなか難しいかなと思います。

市 長…各家庭で求めているものが違うと思いますので、それに応じられるものは学校の部活ではできないのかなと思います。

活発なご議論をいただきありがとうございます。私は、教育は人が人に影響を与えるものだと思いました。先生方が子どもたちに触れる時間が非常に大事だと思っておりますがその触れかたが大きく変わろうとしていますので、危惧している部分もあります。また子どもたちにとっては、学校の先生は身近で最初に出会ういい大人だと思っているので、そういう立場で子どもたちがいろんなことを学びながら大きくなっていていただいたら良いと思っております。この改定がいい方向になるようにいろいろ仕掛けをしていかないといけないと思っておりますので、皆様のお知恵をお借りしたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。ではこれを持ちまして平成30年度第2回敦賀市総合教育会議を閉じさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。